

## マレーシア短期派遣 2015 レポート課題

——「飛ぶ前に見よ(Look before you leap.)」について——

生物資源科学専攻修士 1年 牧下彩乃

私がこの記事を読んでまず始めに感じたのは、準備をしなければ得られるものも少ないということだ。新しい場所へ行ったり新しいことを始めたりする際に、とりあえず挑戦し、やっていく中で勉強をし、学ぶ方法もあるが、それは時間に余裕があり長期的に取り組むことができるから上手くいくのだと思う。今回のマレーシア派遣のように、1週間という短い期間で成果を得るには、そのための下準備がとても重要になると感じる。実際に現地で行き詰る時間が短ければ短いほど、1日1日は密の濃い内容でないと多くは得られず、前もって知識を取り込み理解していないと、それが達成できない。「飛ぶ前に見よ」という言葉を読み、改めてそう感じた。

自分が小中高と通っていた頃を思い出すと、修学旅行前は入念に下調べをして勉強をしてから旅立ったが、それは現地でもとても役立ち、調べたおかげでより楽しむことができた。逆に、時間が無いなどうまく調節せず、準備が不十分だったときは、やり切ることができなかつたことに対して悔いが残り、苦い思いをした。

今回のマレーシア派遣では、特に公のお金を使わせていただき研修することになるため、そのことへの責任感を持って良く良く準備をして臨まなければならない。自分を成長させてくれるこの機会を生かすためにも、そしてより楽しむためにも、積極的に準備をしていく所存である。幸いなことに今回は自分たちが現地に行く前に、マレーシアから日本に来る学生との交流ができるため、マレーシアについて事前に生の声から学ぶことができると考えられる。

準備として、まずは現地での行動計画を立てるために、マレーシアと日本の経済的關係や日系企業、マレーシアの工業・工業団地について調べていたが、それまで知らなかったことが多く、改めて知ることの重要性に気づいた。何かを調べることで知らない自分に気づき、さらに調べる欲求が増すため、とにかく動くことが重要だと感じた。また、行動計画を自分たちで決めることができるおかげで、自由度が増し調べる範囲が増え、より多くのことを学ぶきっかけになったと感じる。さらに今回の派遣では、おおまかに同じ方向性を持った仲間と一緒にいくため、それが強みになると感じる。事前にも現地でも仲間と協力することで、自分ひとりでは気づかないこと、出来ないことを補い合い、より良いものにしていきたい。